

英語実務科探究講演会 ～なぜ課題探究学習が求められるのか～

1 日時：令和5年4月21日（金）
1校時 8：55～9：45

2 場所：会議室

3 対象：3年8組

4 講師：高松大学経営学部教授

大阪大学名誉教授

松繁 寿和 先生

松繁先生は上記のほかに

大阪大学大学院工学研究科

パーソル高度バイオ DX 産業人材育成協働研究所 特任教授

大阪大学大学院国際公共政策研究科

ESG インテグレーション研究教育センター 招へい教授

大阪大学大学院情報科学研究科 招へい教授

アジア太平洋研究所 上席研究員 としてもご活躍されています。



5 内容：

「総合的な探究の時間」の活動は、進学した大学で、そして社会に出たのちに必要となるスキルやアプローチを学ぶ場です。活動の意義や、課題の見つけかた、プレゼンテーションのしかたなどについて、今年度の活動のヒントになるお話をお聞きました。3年次は新たに課題を設定し、9月の成果発表に向けて各自で取り組みます。コロナ禍で社会が変化し、世界情勢も大きく変動している中、柔軟に課題に対処し、周囲を巻き込んでよい方向へ進んでいける人材となるためにも、課題探究活動を通じて成長してほしいと思います。

英語実務科 国際理解ワークショップ

- 1 日時：5月31日（水）
10：45～11：30
- 2 場所：会議室
- 3 講師：セカンドハンド
川内先生
- 4 対象：1年8組
- 5 内容：国際紛争や経済格差について学
ぶワークショップを行いました。



簡単なゲームのあと、ふりかえりとして生徒から「最初から道具や材料がグループによって異なり、ほかのグループと交換したけれど、追いつけなかった」「ほかのグループと協力したらよかった」「国連に訴えたらよかったのかも」などの意見が出ました。お金も道具も銀行の支援もある国はおそらく先進国、資源はあるが道具とお金がない国は発展途上国など、実社会に置き換えて考えてみることで、置かれた国の人たちの心情に寄り添うことができ、お金で競うのがベストなのか、という話まで発展しました。今後も学習した内容をいかに生かすか、自分はどうか考えるか、を問いながら学んでほしいと思います。

